



沓掛小学校だより

～元気・やさしさ・かがやく瞳～

未来を拓く

まちがえる・かんがえる・みちがえる



沓掛小 ホームページ



「校長室から」更新中。
普段の生活はもちろん、
遠足や移動教室の様子は
こちらから

1月号

NO. 675

「ナイスチャレンジ」で始める新しい一年 校長 浅見 優子

新しい年を迎え、皆さまにとって健やかで温かい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2学期の終業式で、「挑戦すること」、「失敗を恐れずに新しい一歩を踏み出すこと」の大切さを子供たちに話しました。そして挑戦を称える合言葉として「ナイスチャレンジ!」という言葉を増り合おうと呼びかけました。それは、結果の良し悪しよりも、「やってみよう」と一歩踏み出す姿そのものに、成長の芽があると考えているからです。

日本には「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。今年の干支である丙午の「勢い」を追い風に、子供たちには、どんな目標に対しても「ナイスチャレンジ!」と自分自身に声をかけ、まず挑戦してほしいと思います。たとえ失敗しても、そこから学び、次へつなげていくことこそが大切です。まさに、「まちがえる・かんがえる・みちがえる」です。

この考えは、子供たちだけに向けたものではありません。実は今、学校そのものも、たくさんのナイスチャレンジの途中にあります。

2学期の終業式の3日前、見守りボランティアの方が「天気予報では、終業式(12月24日)は雨の予報なんです。雨の中、たくさんの荷物を持ち帰るのは気の毒ですね」と教えてくれました。その声を受け、先生方に相談してみると、次々と良いアイデアが出てきました。

- ① 放送で雨予報を全校に知らせ、荷物を早めに持ち帰るようよびかけること。
- ② 冬休みは夏休みより短いので、防災頭巾を学校に置いていくこと。
- ③ 他にも持ち帰らなくても良い物を見直すこと。

などなど

天気予報通り、終業式の日には朝から雨でした。子供たちの持ち帰る荷物を少しでも減らせたのではないかと思います。

このように本校の教職員は、保護者や地域の方など、様々な立場の方の気付きを大切にしながら、学校改革に取り組んでいます。また、体育学習発表会や沓和祭などの学校行事では、子供たちの意見を取り入れています。もちろん授業の進め方を見直したり、子供同士が学び合う場面を増やしたりと、日々授業改善にも継続して取り組んでいます。さらに、校務においても、ICTを活用した業務の見直しや、仕事の進め方そのものを整理し直す「校務DX」に挑戦しています。

どれも、すぐに答えが出るものではありません。試してみて、うまくいかず、やり直すことも少なくありません。それでも私たちが挑戦を続けるのは、

「子供たちに、挑戦する姿を見せたい」

「挑戦してよかったと思える学校をつくりたい」

という思いがあるからです。

まちがえてもいい。考え直してもいい。子供も、大人も、挑戦することを認め合える学校でありたい。そのような土台があつてこそ、子供たちは安心して自分の力を伸ばしていくことができます。

3学期も、子供たち一人一人の「ナイスチャレンジ」とともに、教職員自身の「ナイスチャレンジ」を重ねながら、学校づくりを進めてまいります。本年も、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

— 本校の「校務DX」について —

<p>Q1. 「校務DX」とは何ですか？</p> <p>A. 校務DXとは、ICT（デジタルの力）を活用して、教職員の仕事の進め方を見直し、整理する取組です。単にパソコンを使うことが目的ではなく、「ムダを減らし、子供に向き合う時間を増やす」ことを大切にしています。</p>	<p>Q2. なぜ今、校務DXに取り組んでいるのですか？</p> <p>A. 学校の仕事は年々複雑になり、教職員が忙しさを感じやすい状況があります。その中でも、子供たち一人一人と丁寧に向き合うためには、仕事のやり方そのものを見直す必要があると考えています。</p> <p>校務DXは、教職員が無理なく働き、落ち着いた気持ちで子供と向き合うための「土台づくり」です。</p>
<p>Q3. 具体的には、どのようなことをしていますか？</p> <p>A. 例えば、次のような取組を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席連絡等のデジタル化 ・ディクテーション機能を活用し、会議録を作成し、AIで要点を整理する ・ICTを活用して作業時間を短縮するなど、小さな改善を積み重ねています。すべてを一気に変えるのではなく、試して、振り返り、やり直すことを大切にしています。 	<p>Q4. 校務DXは、子供たちにどんなよさがありますか？</p> <p>A. 教職員の時間と心にゆとりが生まれることで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業をより丁寧に考える ・子供の声をじっくり聞く ・一人一人に合った支援を考える <p>ことにつながります。校務DXは、子供たちの学びと安心を支えるための取組です。</p>
<p>Q5. うまいかないことはありませんか？</p> <p>A. もちろんあります。新しいことに挑戦すれば、思うようにいかないこともあります。しかし本校では、それを「失敗」ではなく、次につながる学び＝ナイスチャレンジと捉えています。</p>	<p>最後に</p> <p>子供たちに「挑戦していいよ」と伝えるためには、大人自身が挑戦する姿を見せることが大切だと考えています。課題は次年度を待たずして、改善します。従来のやり方を見直し、子供の意見を積極的に取り入れていきます。本校はこれからも、探究する職員室として、チームで挑む学校として、一歩ずつ学校づくりを進めてまいります。</p>

ふれあいアンケートを終えて

2学期に行ったふれあいアンケートのまとめとして、全校朝会でいじめについての以下のような話をしました。

- ・いじめは心の傷だということ。
- ・目に見えない心の傷を治すことは難しいから、絶対に傷つけてはいけないということ。
- ・傷つけている友達を見かけたら、大人に伝えること。
- ・先生たちは、いじめられている子を全力で守ること。

子供の感覚ではいじめているつもりがなくても友達に嫌なことをしてしまっている場合は、よくあります。そこに気付かせ、よりよい人間関係が築けるようこれからも指導していきます。

1月の生活目標 「きまりを守りましょう」

3学期始めの目標は「きまりを守りましょう」です。

学校の決まりは、誰もが「安全に」、そして「気持ちよく」生活できるためのものと考えてみると、「なぜこのきまりが必要なのか」ということが理解できるのではないかと思います。学校は600人近くが過ごすところであることを忘れずに、いつも行動できるようになってほしいと願っています。登下校の際、ランドセルが開いていたり、横に物が多くかかっていたりしているのを見かけることがあります。学校でも声を掛けていますが、ご家庭でも気に掛けていただき、令和8年も子供たちが安全に過ごせるようご協力をよろしくお願い致します。

中休みの校庭でのサッカー遊びおよびサッカーゴール撤去について

校長 浅見 優子

2学期より中休みの校庭におけるサッカー遊びを禁止し、サッカーゴールを撤去しました。この対応について、理由をご説明いたします。

■対応の背景

中休みは、全学年の児童が同時に校庭を利用する時間帯です。鬼ごっこや遊具遊び、縄跳びなど、さまざまな遊びが混在しています。その中でサッカーを行うと、次のような安全面の課題が生じます。

- ・ボールが勢いよく飛び、周囲の児童に当たる危険がある
- ・学年や体格差により、接触や転倒などの事故につながる可能性がある
- ・実際にけがにつながりかねない場面が見られたこと

学校として慎重に検討を重ねた結果、児童の安全を優先に考え、今回の判断に至りました。

■見守りやルールの強化では防げない

「見守りを増やす」「ルールを厳しくする」方法も検討しましたが、次の理由から、事故を完全に防ぐことは難しいと判断しました。

- ・中休みは全学年が同時に校庭を利用するため、教職員による監督には限界があります。
- ・全国では、サッカーゴールの下敷きになる重大な事故が発生しています。本校でも繰り返し指導してきましたが、ゴールにぶら下がる行為はなくなりませんでした。
- ・子どもは夢中になると危険を予測する判断が難しく、ルールを定めても完全な遵守は困難です。

こうした状況から、サッカー遊びを中休みの校庭で行うことは、安全を確保する上でリスクが高いと結論づけました。今回の措置は、児童の命と安全を守るための「予防的な判断」です。

■運動の機会について

体育の授業や、学年・学級単位で計画された活動においては、今後もサッカーを含む運動を適切に実施します。今回の対応は、あくまで中休みという「不特定多数が同時に使う時間・場所」に限定した措置です。

■児童への説明

「中休みは、みんなが安心して使う時間です。サッカーは楽しいけれど、ボールが当たったり、ぶつかったりして、けがをする人が出てしまうことがありました。みんなの命と安全を守るために、中休みでは行わないことにしました。」

罰や禁止ではなく、『安全を守るための約束』として説明しています。

おわりに

本校では、「事故が起きてから対応する」のではなく、「事故を未然に防ぐ」ことを最優先に考えています。今回の対応は、児童の安全を守り、学校としての責任を果たすための判断であることをご理解いただけましたら幸いです。今後も、安全で安心できる学校生活の実現に向けて、取り組んでまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【1年生】

【1月当初の持ち物】

1月13日（火）までに体育着と短縄を持たせてください。鍵盤ハーモニカは各クラス指示された日に持たせてください。（連絡帳でお知らせします。）

【図工の材料について】

「たいせつボックス」で、自分の宝物を入れる箱を作ります。蓋のある箱（あまり大きくないもの）、プリンカップやペットボトルのキャップなどを19日までに持たせてください。
※箱はペンで色を塗ったり、画用紙を貼ったりします。表面がコートされていないものの方が製作しやすいです。

【日程について】

- ・22日（木）は新1年生保護者会のため4時間授業です。
- ・28日（水）は校内研究授業のため全クラス5時間授業です。下校は14：00ごろの予定です。

【2年生】

○あいさつ当番について

1月13日（火）から16日（金）まであいさつ当番があります。当番の児童は、8時5分までに登校するようにしてください。（当番表は後日 tetoru で配信しますので、ご確認ください）

○算数「はこの形」について

教科書 p.67にあるような箱を一人2～3個ご用意ください。蓋がついているもの（六面とも塞がるもの）であまり大きすぎないものが扱いやすいです。担任から連絡があり次第、記名・袋に入れて持たせてください。

○持ち物について

- ・9日（金）まで 体育着、道具箱
- ・13日（火）まで 鍵盤ハーモニカ、短縄（長さを調整して）

【3年生】

○席書会について

13日（火）1、2校時に体育館で実施します。当日は、持ち物と服装の確認をお願いします。

- 持ち物：
- ・習字道具（洗濯ができる墨液は不可）
 - ・書き初めのお手本
 - ・新聞紙（家にある人）

服装：汚れに対応できる服

○OAKA 交流授業について

15日（木）3、4校時に中学生と交流授業があります。

○図工について

版画をするので、汚れに対応できる服でお願いいたします。

○社会科見学

2月6日（金）に、杉並区立郷土博物館と東京メトロ中野車両基地へ行きます。詳細は「社会科見学のしおり」にてお伝えします。

◆お知らせとお願い 4～6年 ◆

【4年生】

席書会について

13日(火) 3、4校時に体育館で実施します。当日は、持ち物と服装の確認をお願いします。

- 持ち物：・習字道具（洗濯ができる墨液は不可）
・新聞紙（朝刊1日分程度、用意できる方）
・書き初めのお手本
・墨のついたゴミを入れる袋

服 装：汚れてもよい服

なわとび（短縄）について

体育の授業で短縄を使います。跳びやすい長さに調節し、記名をした上で、1月13日(火)までに持たせてください。

【5年生】

席書会について

9日(金) 1、2校時に体育館で実施します。当日は、持ち物と服装の確認をお願いします。

- 持ち物：・習字道具（洗濯で落ちる墨液は不可） ・新聞紙（朝刊1日分程度、用意できる方）
・書き初めのお手本 ・墨のついたゴミを入れる袋

服 装：汚れてもよい服

なわとび（短縄）について

体育の授業で短縄を使います。跳びやすい長さに調節し、記名をした上で、1月13日(火)までに持たせてください。

社会科見学 1月20日(火)について

集合時間：7時30分（お弁当が必要です） 行先：味の素工場、NHK 放送博物館
詳細は後日お配りする、しおりでご確認ください。

【6年生】

<席書会について>

9日(金) 3、4校時に体育館で実施します。当日は、持ち物と服装の確認をお願いします。

- 持ち物：・習字道具（洗濯で落ちる墨液は不可） ・新聞紙（朝刊1日分程度、用意できる方）
・書き初めのお手本 ・墨のついたゴミを入れる袋 ・習字用ぞうきん

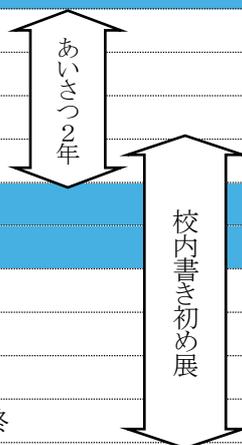
服 装：汚れてもよい服

<AKA 交流授業>

【日時】1月15日(木) 3、4校時 【場所】天沼中学校体育館
中学生と一緒に、「百人一首交流会」と「小中連携～ミライ～」が行われます。

日本の伝統文化である百人一首を通じて古典に親しむとともに、中学生との意見交換を通じて、小中学校間の交流を深めたいと思います。

日	曜	1月行事	授業時数					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	元日						
2	金							
3	土							
4	日							
5	月							
6	火							
7	水	冬季休業日終						
8	木	始業式	4	4	4	4	4	4
9	金	給食始 4時間授業 席書会 (5・6年)	4	4	4	4	4	4
10	土							
11	日							
12	月	成人の日						
13	火	委員会 席書会 (3・4年)	5	5	5	5	6	6
14	水	クラブ 雅楽体験教室 (6年)	5	5	5	6	6	6
15	木	AKA 交流授業 (1~4・6年)	5	5	6	6	6	6
16	金	校内書き初め展 (~22日)	5	5	5	6	6	6
17	土							
18	日							
19	月	5時間授業	4	5	5	5	5	5
20	火	社会科見学 (5年)	5	5	6	6	6	6
21	水	水曜時程4時間授業 糸車体験 (1年)	4	4	4	4	4	4
22	木	トライやる 新1年生保護者説明会 校内書き初め展終	4	4	6	6	6	6
23	金		5	5	5	6	6	6
24	土							
25	日							
26	月		4	5	5	6	6	6
27	火		5	5	6	6	6	6
28	水	水曜時程4時間 (1年生のみ校内研究授業のため5時間授業)	5	4	4	4	4	4
29	木		5	5	6	6	6	6
30	金		5	5	5	6	6	6
31	土							



※始業式は1月8日(木)水曜時程給食なし4時間授業です。

- ・スクールカウンセラー直通電話は、03(3390)4191です。
- ・避難訓練(予告なし)が入ります。

<校内書き初め展>

1月16日から22日まで校内書き初め展があります。書き初め展のご参観をご希望される方は、期間中にご来校ください。8時30分~16時の間に学校の正門をご自身で開錠いただき、第一昇降口の書き初め展ご来校者用の名簿にご記入のうえ、お進みください。ご参観中は、児童や職員の写真・動画の撮影は禁止となりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。